

朝霧湖(野村ダム貯水池)に浮草が大量発生！

令和6年9月18日頃に、朝霧湖（野村ダム貯水池）において浮草が発生したのを確認、9月末頃より大量発生し繁茂している状況です。

浮草は、「アカウキクサ」という仲間の一種と推測され、アカウキクサは、全体的に緑色をしているが、赤みを帯びることがあり、特に秋の終わりに真っ赤に色づくのが名前の由来であり、外来種か否かは現在調査中です。

大量発生の要因は、下記の内容が複合的に影響し繁茂したことが推測されますが現時点で特定は困難です。

- ・物理的要因(流況、気温、水温、成層状況、日照等)
- ・化学的要因(栄養塩類、その他阻害物質等)
- ・生物的要因(植物プランクトン、動物プランクトン、他の浮草の生育等)

野村ダムでは、近年（過去10年間）でこのような大量発生はありませんでした。現状、現地調査の結果貯水池の水質に影響はありません。

また、洪水時の防災操作及び施設改良工事への影響もありませんが、浮草が腐食し水質へ悪影響を及ぼす可能性もあるため、10月7日より作業船にて回収を始めています。

発生・回収状況は別添を参照。

以上

※本施策は、広域地方計画【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

＜問い合わせ先＞

国土交通省 四国地方整備局
肱川ダム統合管理事務所

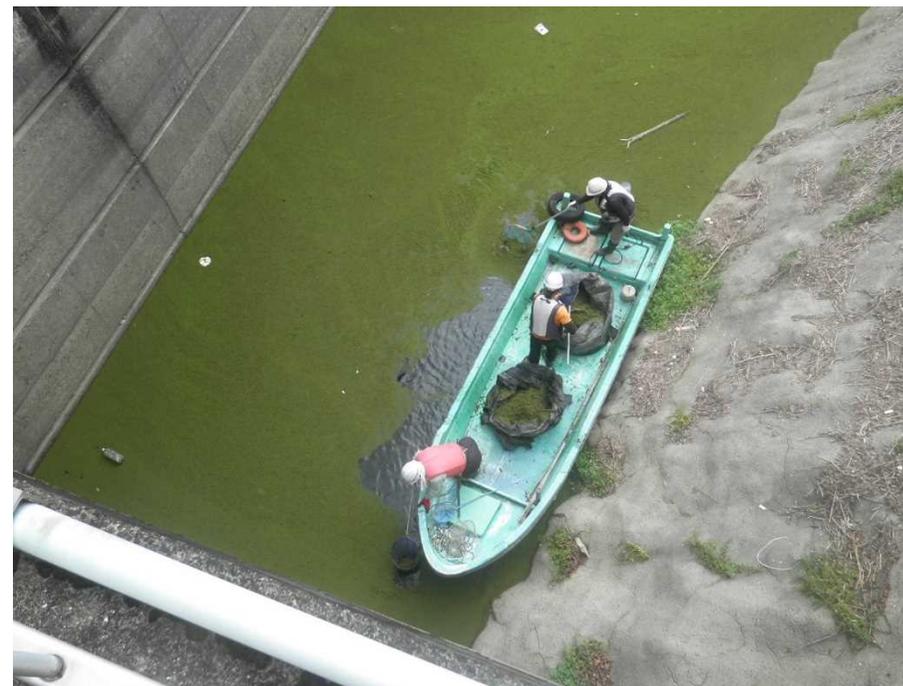
副所長 南本 秀行(内線：204)
管理課長 多田 寛(内線：331) ◎(野村ダム)
代表：(0894)-72-1211

◎印は、主な問い合わせ先

令和6年10月7日撮影



浮草発生状況(野村ダム貯水池)



浮草回収状況

